

なはの水

発行／那覇市上下水道局
所在地／〒900-0006 那覇市おもろまち1-1-1
TEL／098-941-7801
<http://www.water.naha.okinawa.jp>

R100 再生紙を使用しています。

水事情が悪化しています。節水にご協力を!!

みずの資料館を紹介します

那覇市上下水道局では、庁舎（みずプラッサ）1階エレベーターホール内に「水」をテーマに市民の皆様へ上下水道の歴史や水を大切に使う心を育んでもらうことを目的として、「みずの資料館」を設置しています。みずの資料館は、「ウォータールート」「ウォーターサロン」「ヒストリールート」の3つのゾーンからなっています。

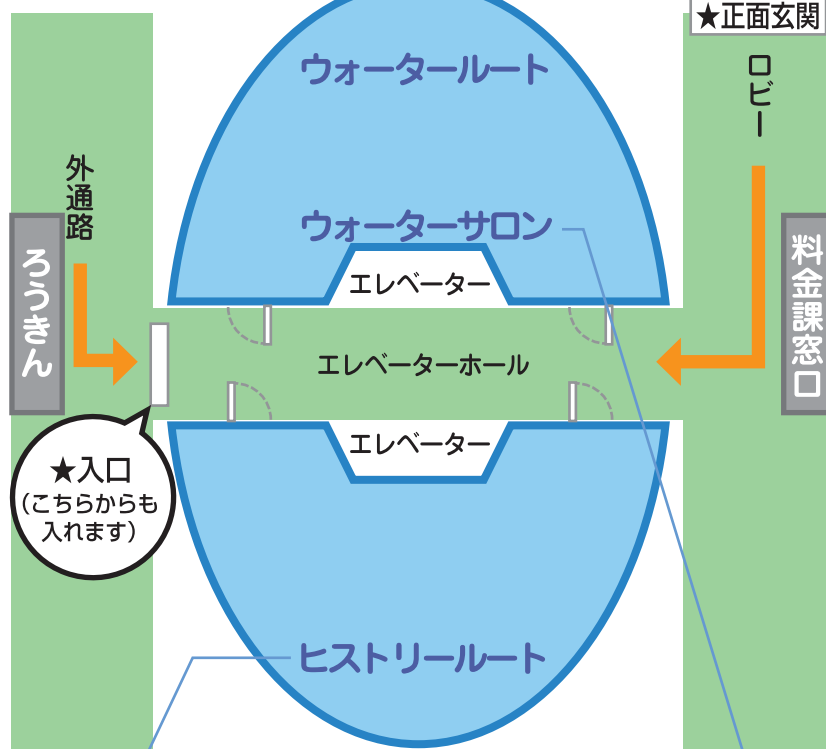
ウォータールート

自然の水を暮らしに利用できるように浄化する上下水道の役割と仕組みについて、操作体験や実物の観察を交えながら楽しく学習できます。



暮らしと水

模型のスイッチを押すと、台所・洗濯機・お風呂・水洗トイレの水の使用量が分かります。また、節水をした場合の水の使用量も紹介します。



みずの資料館平面図



操作体験

水道設備の中で特徴的な浄水処理の過程を、具体的に探求できます。装置のハンドルを回すと、水道模型と連動して映像解説をおこないます。

資料館には2ヶ所から入れます。
(★正面玄関、ろうきん側入口)

ヒストリールート

水を尊び、水に苦労した先人のあゆみを、暮らしと水道技術、水環境の3つの軸で紹介します。



上下水道年表

各年代の生活状況・技術状況などをグラフィックなどでわかりやすく紹介します。



水のアラカルト

ビンゴクイズゲームやニュースアーカイブなど、水道に関することを調べることができます。

ウォーターサロン

展示室の中央で、休憩したり、映像やパンフレットなどから情報を入手できます。



映像スクリーン

水の風景や上下水道局の紹介、那覇新都心のあゆみなどの各種映像を上映します。

みずの資料館 案内

- 入館無料
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 開館日：土・日・祝日を含む毎日
※12月29日～翌1月3日は休館日
- 団体見学：事前に申し込みが必要です。(10名以上)
- 問合せ先：総務課 ☎941-7801



みずの資料館 外観

生活排水を下水道に流すことで川はきれいになります。

那覇市の川マップ ～みんなの近くの川を探してみよう～

みなさんは家や職場の近くを流れる川を意識されたことがありますか？

右地図のように那覇市内にもたくさんの川が流れています。都市化が進むにつれ、川は汚れてしまいましたが、下水道の普及や環境活動が成果をあげて安謝川のようにきれいになった川もあります。生活排水をきちんと下水道に流すことは、川をきれいにする第1歩です。

那覇浄化センター
下水道に接続された家庭や事業場からでた汚水は汚水管を通りここに送られます。ここできれいに処理してから東シナ海に放流されます。

久茂地川(久美橋)

ハーゲラ川

具志川

安謝川(平良バス停付近)

真嘉比川

安里川

金城川(石畳付近)

三原水路

カーブ川(弓張公園内)

国場川

袋廻川(鏡原中横)

※那覇市内を流れる2級河川(公共の利害に重要な関係がある河川で都道府県知事が指定したもの)は、安謝・安里・国場・久茂地・真嘉比・金城・潮渡川ですが、この記事ではそれ以外も川と表現しています。

美しい川をめざして 安謝川の浄化活動が「いきいき下水道賞(国土交通大臣賞)」を受賞

首里石嶺町→首里平良町→首里末吉町→安謝へと流れる安謝川は、下水道が整備されないまま流域の人口が急増したため生活排水が流入し、水質が悪化していました。市では、下水道の整備と接続への取り組みを積極的に行うなど市民と協働して安謝川の浄化活動を行い、以前は洗剤の泡が吹きあげられるほど水質が悪化していた川が今では小動物が息息するまでに改善されています。平成19年度には『第16回いきいき下水道賞(国土交通大臣賞)』を受賞することもできました。これまでの下水道接続への取り組み、市民が主体になった清掃活動や環境学習が安謝川を改善できた原動力です。

生活排水による水質汚濁が進んでいた安謝川

水質改善後の安謝川

現在の安謝川

子どもたちが川の生き物を調査 写真提供 沖縄県建設弘済会

下水道が普及すると...

私たちは日常生活や社会活動において、さまざまな形で大量の水を利用しています。使われた水をそのまま流してしまうと、川や海は汚れていくばかりです。川や海を汚さずにきれいな水によみがえらせ、私たちの生命や安全を守ってくれる下水道は、私たちの生活を支える重要な施設です。

①トイレの水洗化

- 衛生で快適なトイレが使えるようになります。
- 悪臭が無くなり、掃除も楽になります。

②生活環境の改善

- 汚い水たまりやドブがなくなり、衛生的な街になります。
- 側溝等の悪臭が解消されます。
- ゴキブリやハエなど、害虫の発生を防ぎます。
- 浄化槽の維持管理が不要になります。

③水質の保全

- 生活排水を浄化して流すため川や海の水の汚濁を防止します。

④浸水被害の防止

- 雨水を速やかに排除し、浸水を防止します。
- 浸水を防ぐことで生命や財産を守り、安全な街づくりを行うことも下水道の役割です。

やってみよう! 家でのエコアクション

私たちの家の近くを流れる川はやがて安謝川、安里川、久茂地川、国場川と合流し、海へと流れていきます。上で紹介した安謝川のように、市民の清掃活動、各家庭での下水道への接続といった小さな取り組みが大きな効果をもたらします。みなさんが毎日の生活で行うちょっとした取り組み『エコアクション』は大きな力になるのです。大切な子供達に、今の自然環境を残すためには、毎日の生活で心がけることが大切です。

台 所

- ☆水は出しすぎず、こまめに止める
- ☆食器の汚れは使用済みのキッチンペーパーや布などでふき取って洗う

お風呂

- ☆シャワーはこまめに止める
- ☆歯磨きはコップを使って

せんとく

- ☆注水すぎはしない(水を流しながらのすすぎ)
- ☆洗剤は適量で
- ☆お風呂の残り湯を使う

きれいに流す!

- ☆てんぷら油や生ゴミを流さない
- ☆ベランダ排水はやめる
- ☆洗剤は適量を使う
- ☆下水道に接続する
- ☆合併型浄化槽の設置(下水道未供用地域)

残り湯だと汚れ落ちもよくなるよ。

下水道に接続することは今の自然環境を守る事に繋がります。

地震発生!



地震で破損した水道施設・水道管

大規模な地震が発生すると地盤の変動などによって、水道施設や、埋設された水道管などが破損することが予想されます。



給水車に列をなす人たち

水道管が破損して断水になると、飲料水、トイレなど生活用水が不足し、医療活動、消火活動に支障をきたします。また、施設の破損により、二次災害が懸念されます。



液状化によるマンホールの浮上

下水道管の破損によって下水があふれ、公衆衛生上、重大な被害を引き起こす恐れがあります。

(((水道・下水道の震災対策)))

沖縄で自然災害といえば、もっぱら台風で、「沖縄には地震がない」と思われていますが、中南部には活断層が存在し、本市でも大きな地震が起こる可能性があります。そこで那覇市では「第4次那覇市総合計画」に基づき、災害に強い水道施設・下水道施設の整備、災害時のライフラインの保全及び早期復旧を図り、安心して暮らせるまちをつくります。

耐震性の高い材料の採用



水道管路の新設・改良工事の際には、耐震性の高い材料を使用したり、配水池緊急遮断弁を設置するなど、災害時の被害が最小限になるような施設整備を行っています。

写真提供:日本ダクタイル鉄管協会

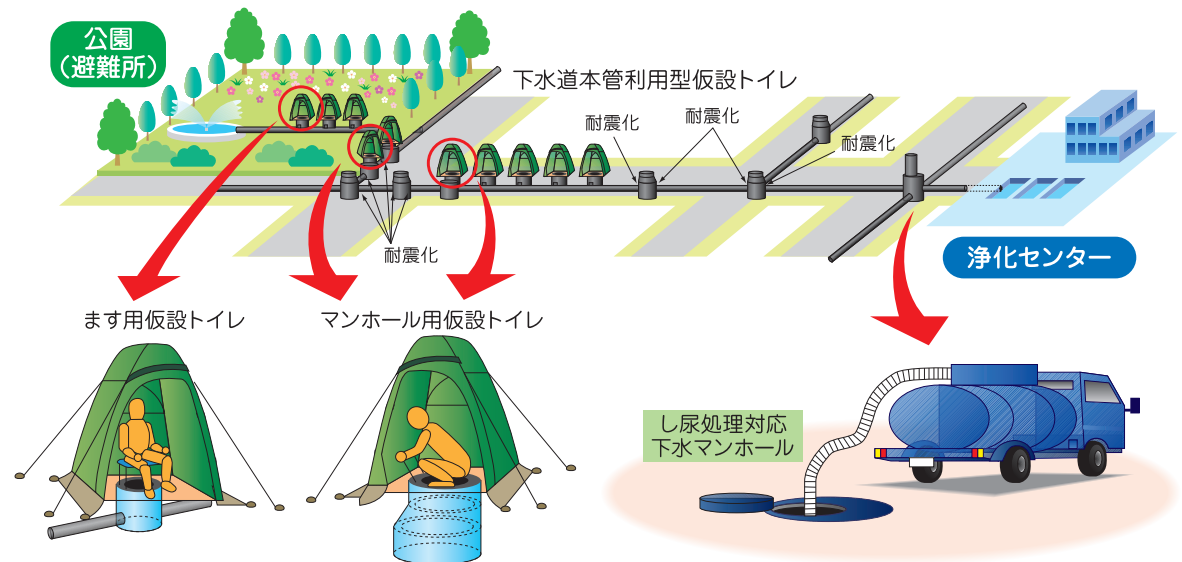
訓練の実施



応急給水、応急復旧に使用する資機材を備蓄し災害に備えます。また、危機管理計画を整備し被災を想定した訓練を実施します。

マンホールトイレシステムの検討

マンホールトイレシステムとは、耐震化された下水道管路のマンホールの上に簡易的な囲いを設置して、災害時の仮設トイレとして使用できるものです。市では、災害時に公衆衛生を確保し、市民のみなさまの健康を守るとともにスムーズな復旧活動を行うためこのシステムの導入を検討しています。



第2回 モニター会議



4種類の水(生水の水道水・塩素を除いた水道水・ミネラルウォーター(2種類))を飲み比べる「利き水」をおこないました。

利き水後の感想

このような形で飲み比べたことがないので、貴重な体験でした。この水も同じくらい気遣われて生成された水であることが味わえました。

第1回 モニター会議



モニターの職務説明や、局施設「みずの資料館」、「上水道監視室」、「水質試験室」の見学、懇談会などを行いました。

上下水道施設見学



県内の上下水道施設(泊配水池→北谷浄水場→海水淡化化センター→倉敷ダム→那覇浄化センター)を巡り知識を深めました。

施設見学の感想

すべての施設を見学して、毎日安全に水を使えることに改めて感謝しました。施設を管理している方々、ありがとうございました。水不足と闘ってきた沖縄の歴史が水質の向上につながっていることにも感動しました。

このような形で、1年を通じてモニター活動を行っています。モニターについての問い合わせ先は、こちら

〈総務課〉
☎ 941-7801

平成19年度

上下水道モニター活動報告

